

株主の皆さまへ



第57期 中間報告書

2010年4月1日～2010年9月30日

証券コード：9888



社長メッセージ

株主の皆さまには日頃から格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

第57期（2010年4月1日～2011年3月31日）の中間報告をするにあたり、ここ半年を振り返ってみますと、2008年9月のリーマンショック以降の世界同時不況から徐々に立ち直りを見せていたわが国の経済環境の中で、当社の主力商品であるステンレス市況でも追い風が吹き、期の前半の第1四半期（4月～6月）では春先のニッケル価格の上昇によるステンレス鋼材の先高感も加わり販売価格が急速に改善しました。この結果、当社の第1四半期業績も7四半期ぶりに黒転を果たすことができました。夏以降はニッケル価格も落ち着きを見せ、円高基調が定着したため景気の先行きに不透明感も出始めて来ましたが、当中間期（4月～9月、第2四半期累計期間）は最悪期であった去年同期と比べれば、売上高で14.3%増の19,133百万円、純利益では227百万円（去年同期は1,682百万円の損失）を計上することができ、半期ベースとして4期ぶりに赤字脱却となりました。

この間、当社は激しい外部環境の変化にさらされ業績が大きく左右した教訓から、過度に外部環境に依存することなく、自立・安定的な収益基盤を構築するための「外へ向けた改革」と、改革を担う社員の当事者意識を高め、自律的組織運営を可能にする「内部の改革」の両方を同時に進める3カ年の「『志』登頂計画」を本年4月からスタートさせました（2010年6月、「株主の皆さまへ」第56期報告書ご参照）。

構造改革や意識改革を伴う変革は一朝一夕に成果を実感することは困難ではありますが、全社員が地道な努力を重ね、真面目にひとつずつ取り組んで行くことが結局は成功の近道と信じておりますので、今後とも株主の皆さまのご理解とご支援を賜りたくよりしくお願い申し上げます。

2010年11月

代表取締役社長 押本 俊明

事業の概況

当第2四半期（2010年4月1日～2010年9月30日）におけるわが国経済は、中国を中心としたアジア諸国の経済の拡大に伴う輸出や工業生産の増加などにより景気は緩やかに回復へ向かったものの、期の後半からはデフレや円高基調を背景に不透明感が強まる状況になりました。

このような状況のなか、当社企業集団の連結業績は、中核事業であるステンレス鋼その他金属材料の販売事業における業績の回復により、売上高は前年同期に比べ14.3%増加の19,133百万円となりました。利益面につきましては、期初のニッケル価格高騰による先高感が販売価格の上昇をもたらし、売上総利益率が改善したことにより、営業利益は225百万円（前年同期は1,706百万円の損失）、経常利益は192百万円（前年同期は1,767百万円の損失）、四半期純利益は227百万円（前年同期は1,682百万円の損失）となりました。

ステンレス鋼その他金属材料の販売事業

ステンレス鋼の販売において、販売価格が前年同期に比べ約9%上昇し、数量が前年同期に比べ約11%増加したことにより売上高は18,401百万円と前年同期

比14.3%増加しました。営業利益は、販売価格の上昇による売上総利益率の回復により、318百万円（前年同期は1,602百万円の損失）となりました。

ステンレス鋼その他金属加工製品の製造・販売事業

中国における造管事業の回復により、売上高が399百万円と前年同期比47.7%増加したものの、国内事業において製造拠点の集約による一過性のコスト発生な

どによる売上原価の増加もあって、営業損益は31百万円の損失（前年同期は33百万円の損失）となりました。

機械装置の製造・販売及びエンジニアリング事業

当第2四半期は、前年同期に比べ受注高が約4割増加したものの、下期納期の物件が主体であったことと、上期に計上を予定していた大口受注物件の客先工

期遅れによる納期のずれもあり、売上高は334百万円と前年同期比8.7%減少、営業損益は83百万円の損失（前年同期は91百万円の損失）となりました。

セグメント別会社一覧

（単位：百万円）

事業区分	会社名	資本金	出資比率 (%)	売上高		事業内容
				10/9実績	09/9実績	
ステンレス鋼などの販売	UEX (当社)	1,512	—	18,416	16,736	ステンレス鋼などの在庫加工販売
	UEX管材	12.8	79.4	492	385	鋼管、鋼材、継手類の販売
	日進ステンレス	20	100	522	214	半導体装置用ステンレス鋼管の販売事業
	ナカタニ ^(※)	10	33.6	1,450	1,514	鋳造品・鍛造品・機械部品などの設計・加工
	SPEX ^(※)	10,000千NT\$	40	6,578千NT\$	666千NT\$	チタン展伸材などの輸入販売
	ステンレス急送	10	100	168	175	貨物自動車運送業
加工製品の製造・販売	大崎製作所	15.5	100	305	275	有圧換気扇ウエザーカバーのOEM生産
	上海UEX	1,520千US\$	100	7,154千元	561千元	鋼管加工製品の製造・販売
機械装置 エンジニアリング	上野エンジニアリング	60	90	272	352	一般産業用機械装置の設計・製作
	三益UEX	10	100	64	160	鋼管製造用機械の製造・販売

(※)は持分法適用会社

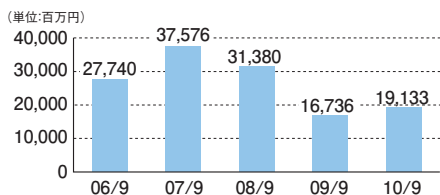
特集記事

UEXホームページをリニューアルしました

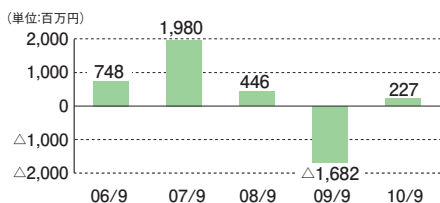
UEXは、11月にホームページをリニューアルいたしました。従来よりも使い勝手を良くし、また決算情報や会社情報はもとより、当社の魅力が皆さまに伝わるようなホームページを目指して制作しました。ぜひ一度ご覧ください。

<http://www.ux-ltd.co.jp/>

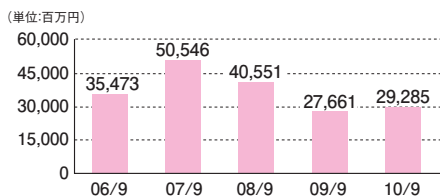
連結売上高 (第2四半期累計)



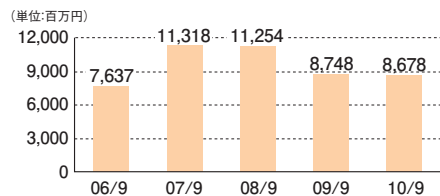
連結四半期純利益 (第2四半期累計)



総資産

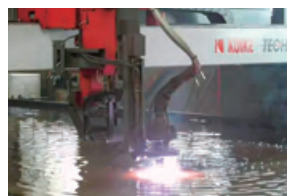


純資産



製品とサービス

UEXで取り扱っている製品と、加工などの付加価値サービスについて紹介しています。機械の動画もご覧になれます。



IR情報

決算短信、決算説明会資料、事業報告書などを掲載しています。IRカレンダーでは今後の予定をご覧になれます。

新しい経営方針

2008年に制定した「UEXの志」について紹介しています。当社の3年後に目指す姿を説明しています。

関係会社

当社の7社の子会社と2社の関連会社を紹介しています。

リクルート

採用のページへリンクします。当社は常に有能な人材を求めています。



会社概要 (2010年9月30日現在)

社名 株式会社UEX
 英文商号 UEX, LTD.
 設立 1955年1月14日
 代表者 押本 俊明
 資本金 15億1,215万円
 従業員数 309名 (2010年9月30日現在)
 主要販売先 (株)東芝 (株)IHII (株)荏原製作所
 新日鉄エンジニアリング(株)
 三菱重工業(株)
 主要仕入先
 〈メーカー〉 新日鉄住金ステンレス(株) 新日本製鐵(株)
 住友金属工業(株) 大同特殊鋼(株)
 山陽特殊製鋼(株) 愛知製鋼(株)
 〈商社〉 (株)メタルワン 住友商事(株)
 三井物産スチール(株)
 NSステンレス(株)

本社 〒140-8630 東京都品川区東品川2-2-24
 天王洲セントラルタワー 5F
 TEL 03(5460)6500
 FAX 03(5460)6409

大阪支店・大阪配送センター
 九州支店・九州配送センター
 北陸支店・北陸配送センター
 東北支店・東北スチールサービスセンター
 名古屋営業所・名古屋配送センター
 東海営業所
 三島スチールサービスセンター
 第一伊勢原スチールサービスセンター
 第二伊勢原スチールサービスセンター
 東京配送センター

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
 定時株主総会 毎年6月
 定時株主総会基準日 毎年3月31日
 期末配当基準日 毎年3月31日
 中間配当基準日 毎年9月30日
 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
 特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社
 同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社
 証券代行部
 〒137-8081 東京都江東区東砂
 七丁目10番11号
 電話 0120-232-711 (通話料無料)
 上場証券取引所 株式会社大阪証券取引所
 ジャスダック市場
 公告の方法 東京都において発行する日本経済新聞
 当社は、貸借対照表ならびに損益計算書を当社ホームページに掲載いたしております。
<http://www.ux-ltd.co.jp/>

株式の状況 (2010年9月30日現在)

■発行可能株式総数 36,000,000株
 ■発行済株式の総数 12,000,000株
 ■株主数 2,996名

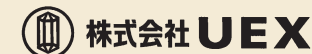
■大株主

株主名	当社への出資状況	
	持株数	出資比率
株式会社メタルワン	1,708千株	14.3%
住友商事株式会社	1,200千株	10.0%
新日鉄住金ステンレス株式会社	696千株	5.8%
株式会社みずほ銀行	548千株	4.6%
UEX社員持株会	399.5千株	3.3%
上野竹枝	393.1千株	3.3%
三井物産株式会社	368千株	3.1%

(注) 出資比率は、自己株式を控除して計算しております。

ご注意

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



〒140-8630 東京都品川区東品川2-2-24
 Tel.03-5460-6500 Fax.03-5460-6409